

人とのつながり

コトナリエの理念は、「光で地域をつなげ輝かせる」ことです。イルミネーションの飾り付けには、湖東中学校の生徒やびわこ学院大学の学生ボランティアなど、さまざまな団体が協力しています。また、びわこ学院大学の学生自らが考えた飾り付けは、コトナリエの名物の一つとなっています。



びわこ学院大学
広報ボランティアサークル代表
今井かりんさん



コロナ禍でいろいろなイベントが中止になる中、唯一地域とつながれるイベントがコトナリエでした。活動の中でたくさんの人とつながって、実行委員会やボランティアだけでなく、楽しみにしてくれる地域の人たちもみんなが支え合っていてくれるイベントだと知りました。

地域に貢献できることが本当にありがたいし、今まで続いできたことをしっかりつないでいきたい。今年の飾り付けは、「宇宙」がモチーフです。見に来た人たちそれぞれが、それぞれのお気に入りを見つけてもらえるよう思いを込めて飾り付けしています。

コトナリエ実行委員会
実行委員長
廣瀬正治さん



今年のテーマは「ありがとうの気持ちがつなぐ明るい未来に」です。

これまで支えてくださった皆さんや、見に来てくれた人たちみんなとつないだ絆やありがとうの気持ちを、次の世代につないでいくという気持ちを込めて決めました。明るい未来を作っていくことの信念を表したものでもあります。

4年ぶりに花火もバザーもイルミネーションも、すべてコロナ禍前の規模で盛大に開催します。多くの人とのつながりがある成り立ってきたこのイベントの集大成を、一人でも多くの人に見に来てほしいです。



コトナリエ2023

〜ありがとうの気持ちがつなぐ

明るい未来に〜

コトナリエ2023
〜ありがとうの気持ちがつなぐ、明るい未来に〜

- 日程 8月5日(土)～13日(日)
18:30～21:30
(8日はひばり公園休園日のため開催されません)
- 会場 ひばり公園
- 主催 コトナリエ実行委員会
※初日は会場周辺に、臨時駐車場が用意されています。
※初日は湖東支所と道の駅あいとうマーガレットステーションを結ぶ臨時シャトルバスが運行されます。
※初日は運営協力金500円(中学生以上が必要です)



コトナリエ
ホームページ



本市の夏の風物詩である「コトナリエサマーフェスタ」(以下コトナリエ)が、今年20周年を迎えます。今年のテーマは、「ありがとうの気持ちがつなぐ明るい未来に」。4年ぶりに、花火やバザー、イルミネーションもコロナ禍前の規模で開催します。

コトナリエとは

30万球のイルミネーションが真夏の夜を彩る光の祭典コトナリエは、家庭の廃食油を再利用したバイオディーゼル燃料でイルミネーションを点灯させる環境に優しいイベントです。東近江市商工会青年部の湖東支部と湖東地区まちづくり協議会の構成員からなるコトナリエ実行委員会を主体とし、当地区の各団体や協賛企業、ボランティアの協力によって成り立っています。毎年、市内はもちろん県内外からも多くの人を訪れる夏の一大イベント「コトナリエ」。もとは、旧湖東町が合併する際に、湖東地区の活性化を目的として、当時の湖東町商工会青年部の会員たちが「湖東」という言葉を残そうと、「湖東夏まつり」をリニューアルし、ひばり公園を11万球の電球で飾り付けたのが始まりです。回を重ねるにつれて、少しずつ装飾の量が増えていき、今では30万球のイルミネーションの輝きがひとときの涼を味わわせてくれます。

つなぐ、未来へ

コトナリエが目指してきた「環境」への配慮は、今では社会全体の課題としてさまざまな取組が進んでいます。そこで、これまでの活動を振り返り、次の時代につながる新たなチャレンジをしていくために、イルミネーションを中心としたイベントは今年が最後となります。

本イベントの最終年。思いのこもったイルミネーションの光で埋め尽くされたひばり公園に、皆さんぜひお越しください。